

# 21'トライやるウィーク

ゆるり家だより

第19号

2021年  
11月号



今年も道親くらぶさんと共催で、トライやるウィークの受け入れを行いました。  
昨年と同様、十一月になったトライやるウィーク。十一月九日〜十一日の三日間、稲美北中学校から四人、稲美中学校から二人が来てくれました。

今年は、昨年できなかったプレーパークも開催。小さな子ども達ともたくさん触れ合うことができました。新型コロナウイルスの影響で時間は短くなってしまいましたが、様々な活動を通して、地域の大人たちや子ども達とたくさん交流できたと思います。はじめは緊張が見えた中学生たちも、だんだん慣れてきてワークショップで自分の意見を話したり、子ども達と積極的に遊んだり、準備から片付けまで、しっかり頑張ってくれました。  
中学生のみなさん、お疲れさまでした。ご協力頂いた方々、本当にありがとうございました！

## 中学生のレポート

### ○一日目○ 防災ワークショップ

障害を持った人たちを地しんから守るために避難を手伝ってる中学生のビデオを見ました。その中学生たちは、失敗から色々なことを学んでました。そういう場面になったら、正しくたいしょできるように日々、考えておかないとなと思いました。  
昼になると非常食を食べました。米はあんなに簡単に作れるんだなと思いました。

(稲美中 細尾)



非常食のアルファ米



避難所の模擬運営



DVD視聴

### 笑顔で接客



自転車の整理も仕事の一部！

### ○二日目○ 駄菓子屋体験

二日目はゆるり家でだがしのはんばいをしました。この日は雨が降っていて、子供たちがたくさん来るか不安だったけど、思っていたよりたくさん来てうれしかったです。

最初はたくさん子供たちがきて対応が難しかったけど、最後らへんになるとなれてきてスムーズにいったのでよかったです。

(稲美北 吉田乃彩)

# 21 トライやる ウィーク

炭火で焼いて食べよう



荷台に乗せてダッシュ!



(稲美北中 戸島彰大)



シャボン玉



三日目は、稲美中央公園のキャンプサイト周辺で道親くらぶの皆さんと一緒にプレーパークの活動を行いました。個性豊かな地域の子供たちと鬼ごっこやしゃぼん玉などをして遊びました。他にも子供たちに荷台に乗ってもらい、それを中学生が引くという変な遊びをしました。午後には、みんなで弁当を食べ、色んな会話をし、火で食べ物を焼いて食べました。とてもつまりましたが、あっという間に時間が過ぎました。

## ○三日目○ プレーパーク

## 中学生の感想

三日間をふり返って、どの日もきちょうな体験ができて良かったと思います。最後にしたプレーパークでは、小さい子たちとたくさん遊べて楽しかったし、火おこしや、どろ遊びなど自分ではできないようなことができて、良かったです。

私は、このような活動が地域にあると思っていなかったし、私も機会があれば、地域のボランティアにも参加したいです。

とてもきちょうな体験をさせていただいてありがとうございました!  
(稲美北 光田朋花)

僕は三日間をふり返ってとくに大変だったことがあります。

一日目では被災した人たちのことを考えたり、対策を考えました。僕は、これで、中学生が動くのが一番大事だと分かりました。心がけておきたいです。

二日目はお菓子を売りました。と中からとても忙しくて、中々に大変でした。ですが、うれしそうに買ってってくれたりして、とてもほっこりし、やりがいを感じました。

三日目は小さい子たちと走ったりして遊びました。みんな元気でもつかれました。他にも荷台をひいたりしました。とても楽しかったです。  
(北中 宮崎圭都)

ゆるり家での三日間の活動は、どれも大変で、つかれたけど、とても楽しかったです。

特に楽しかったのは、三日目のプレーパークで、泥遊びやシャボン玉作りをして、とても楽しかったです。

(稲美中学校 藤原悠生)

# こどものまち稲美2021

新型コロナウイルスの感染拡大により中止された2020年のこどものまち稲美。今年は一年ぶりに開催します。

こどものまちとは、20年以上の歴史をもつミニ・ミュンヘンというプログラムを参考に企画された、子どもたちだけでまちを運営していくイベントです。

出店される様々なお店はこども店長たちがこども会議で意見を出しあって、どのようなお店があったらいいか、そのために何が必要か、何を準備しなければいけないか、子ども同士で話し合いながら作りあげていきます。

参加者であるまちの住民は、仕事をし、給料をもらい、税金を納め、買い物をしたり、ゲームをしたりと様々な活動を通じてまちづくりを体験します。



現在、こども店長たちが子ども会議で自分たちのお店を準備中。



詳しくはInstagram→  
「こどものまち稲美2021  
(@kodomonomati\_inami2021)」  
をチェックしてね！



## こどものまち本番は、12/19（日）開催！

11月初めに町内の小学校全てでチラシを配ってもらい、まちの住民の募集を始めました。小学4年生からしかできないこども店長と違い、小学1年生から応募できるまちの住民。おかげさまでチラシを配った直後から、たくさんのご応募をいただき、現在、午前・午後ともに定員いっぱいになっております。

当日、スタッフ以外の大人は立入禁止。さて、どんなまちになるのかな！？



こどものまち2019  
思い出フォトより

# 映画会開催

## 『ママをやめてもいいですか!?!』

九月二十三日、いなみっこ広場でドキュメンタリー映画『ママをやめてもいいですか!?!』の託児つき映画会を行いました。

この映画は、人知れず子育てに悩み、つまずき、それでも子供を愛し、前を向くママとその家族の歩みを、涙と笑いを交えながら綴った物語です。

神戸新聞や加古川経済新聞で紹介していただき、子育て中の方だけでなく、いろいろな世代の多くの方々に鑑賞していただきました。

映画では家族を中心に描かれていましたが、家族だけでなく、地域のみならず子育て・子育てを支えていきたいと願っています。地域の皆さんと一緒にこの映画を見ることができて、時間を共有できたことを嬉しく思います。



託児コーナーの様子

### 【アンケートの一部を紹介】

・映画に出てきたママさんたちの気持ちが自分のこの様に刺さって、痛くて泣きそうになりました。夫にもぜひとも観てほしい。(四十代)

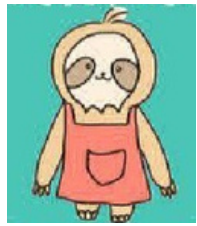
・ママの産後うつは知っていましたが、パパにも産後うつがあるのを知って驚きでした。ママの不満はよく聞くけれど、パパの不満を聞くのも相互理解に大事だなと思いました。(三十代)

・生まれてきてくれたことに感謝できること、母親も個の人間であること、感情を出しても良い、周りが支えられる社会を(六十代)

## いち豊市

3月21日、コミュニティセンターで1年ぶりのいち豊市を開催しました。例年ならゆるり家で行っているいち豊市。密を避けるために、広い会場で午前・午後の2部に分けての開催となりました。

例年のようにワークショップのブースに加えて、子どもたちが遊んだり仕事をしたりできる「ちいさなこどものまち」が出現。感染症対策をとりながら、大人も子どもも楽しい一日となりました!



## ～よっといdayでコラボ続々～

### ○ものつく会○

6月と8月に、ものつく会さんによる、よっといdayコラボ企画が開催されました。

6月17日は『ゆるりと針仕事しよ!の会』、8月5日は『ゆるりともものつく～スパイスカレーshop編～』。



いずれも針と糸のレンタルありで、ダーニングや刺繍などそれぞれに作りたいものを作って過ごしました。

### ○よっといday mini○

月に一度のよっといdayに、例年よりも参加者が多いので、短縮版・臨時のよっといdayを開催しました。



これまで、6月21日、7月22日、9月6日の3回開催。

9月の回では絵本を紹介する企画も行い、大人も子どももたくさんの絵本に見入っていました。

### ○みつろうラップワークショップ○

10月21日のよっといdayでは、講師として『人とわんこのためのホリスティックケアサロンMAHARO』さんに来ていただき、みつろうラップを作るWSを行いました。

みつろうにココナッツオイル等を混ぜ合わせたみつろうラップの素を作ってきて頂いたので、アイロンで布に染み込ませるだけで、驚くほど簡単に完成。普通のラップの添加物やマイクロプラスチックのお話なども聞いて、とても有意義な時間になりました。



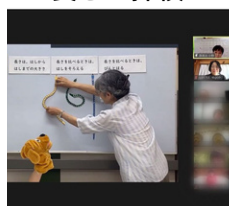
## 輝け加古川みらい基金 助成金事業

二〇二〇年度の助成金事業として予定していた算数講座、今年ようやく開催することができました。第一弾の『図形で遊ぼう』は九月五日に東播磨生活創造センターかこむで『あそびとクラフトの広場』さんとのコラボで開催。少人数でしたが、その分じっくり取り組めた様子でした。第二弾の『長さの探検』は十一月十三日にオンライン講座で開催しました。受講者の方々には、事前にたくさんの教材を郵送し、数学で育ちあう会の算数・数学指導者の先生方に講師をしていただき、様々な内容を盛り込んで行いました。

### 図形で遊ぼう



### 長さの探検



## 駄菓子屋・近況

毎週水曜日の十五時～十七時に開く駄菓子屋さん、『おきらくだがしかし』。一回目の緊急事態宣言明け後のウオークスルー駄菓子屋から、徐々にこれまでの形に戻していきましました。ゆるり家で遊んだり、宿題をして帰る子たちの姿も、再び見られるようになってきました。



# しゃべろ～や



託児コーナーあり！

6月から、いなみっこ広場でおしゃべり会「しゃべろ～や」を始めました。偶数月の第一日曜日に開催しています。初めて稲美町に来た人や、初めてママになった人、いろいろな人がゆるくつながれる場になればと思います。

おしゃべりした内容は、さとちゃんこと新藤里恵さんによる「グラフィックレコーディング（通称・グラレコ）」で残して、SNSで発信しています。ご興味のある方はぜひご覧ください。

これまで、6、8、10月の3回開催され、子育ての悩み、ちょっと聞いてほしいこと、体調の話など、様々な話題が出ています。

ここでの話は他言無用。ぜひゆるりとおしゃべりしに来てくださいね。

## ☆しゃべろ～や詳細☆

偶数月第一日曜日 14時～16時

場所 いなみっこ広場

参加費 300円

申込み不要



さとちゃんのグラレコ

続々！！

# 定期イベントスタート！

## ドイツゲームであそぼうや

9月から、いなみっこ広場で「ドイツゲームであそぼうや」を始めました。こちらも定期イベントで、奇数月の第一土曜日に開催しています。ボードゲームの達人、マルオ洋品店の店長である丸尾さんが、様々なゲームを持ってきて、遊び方を説明してくれます。

ただゲームのルールを教えてくださいただでなく、そのゲームの持つ背景やストーリーを伝えてくださるので、ゲームの世界観に引き込まれ、どんどんやってみたくなくなるという声も。

こちらでは、子どもだけ参加するのではなく、付き添いの大人もゲームで遊んでください。子どもも大人も一緒に楽しみましょう！



面白いゲームがたくさん！



## ☆ドイツゲームであそぼうや詳細☆

奇数月第一土曜日 13時半～16時半

場所 いなみっこ広場

参加費 小学生以下300円

中学生以上500円

※要申込

# 放課後自習室まなぼうや

六月から放課後自習室「まなぼうや」を始めました。毎週水曜日の夜、中学生なら誰でも利用できるように、利用料無料で開けています。夜の時間になるので、最初に保護者の方からの登録をお願いしています。

「稲美町って中学生が集まれる場所がないよね」という声から始めた、まなぼうや。たくさんの中中生や高校生が机を並べ、お互いに教え合ったり、お喋りしたりしながら、交流をとりつつ勉強しています。テスト前は集中モード。緊急事態宣言中はオンラインでの開催も行いました。

まなぼうやの為に、ゆるり家の二階を使えるよう階段に手すりをつけて頂いたり、デスク・椅子・ライトなどの備品、夜食用の食材などなど、多くの方々からのご支援を頂いております。本当にありがとうございます。今後もたくさんの中高中生達に使って貰えたらと思います。



二階の様子

一階の様子

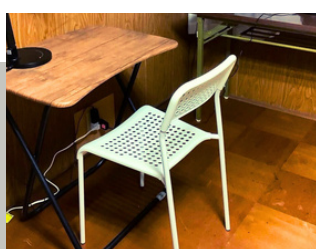
(公財)コープともしびボランティア振興財団第5回やさしさにありがとうひょうごプロジェクト助成事業



## 「」支援の一部



ご支援品を使って、夜食の提供も始めました。



夜の古民家で哲学対話



八月十八日と十月二十日のまなぼうやの時間に、フアシリテーターはるちゃんによる「ワカモノ哲学」を開催しました。

「なんで本はよくてゲームはダメなの？」  
「学校はなぜあるの？」  
「恋と愛ってどうちがうの？」

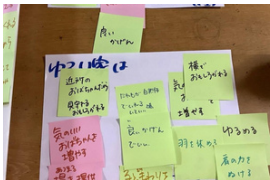
こういった、生活の中の小さな「？」。参加者にはそれぞれ「？」を一つずつ考えてきてもらい、そのうちの一つを選んで、みんなでじっくり考え意見を出し合いました。参加できるのは中学生、高校生、大学生のみ。

短い時間でしたが、今まで話をしたことのない人も話ができただようで、終わった後もおしゃべりしながら勉強している姿が印象的でした。

参加した学生達からも好評で、月一開催を望む声もたくさん聞かれています。

# ワカモノ/哲学

# ゆるり家 ミッション作りワークショップ



《ミッション》  
 いろいろな『子ども』を見守る、  
 気のいい『オトナ』  
 であふれる町を目指します  
 《ミッション》  
 人がゆるりやかに集う場をつくりま

今年活動十二年目になるゆるり家。NPO法人シミズシーズさんをお願いして、ミッション・ビジョン作りのワークショップを開催しました。  
 第一回目は、スタッフ、昔から参加している人達、最近出会った若い人達など、ゆるり家に縁のある方々が集まってくれました。  
 「私が思うゆるり家の好きなお話」  
 「もしゆるり家がなかったら…」  
 子どもたちが託児ボランティアさんたちと遊んでいる横で、大人たちはわいわいと、時に真面目に、時に爆笑しながら話し合い。  
 ワークショップ後、ゆるり家を利用している方達にアンケートをとりました。もちろん駄菓子屋に来ている子ども達にもお願いして書いてもらいました。  
 二回目、シミズシーズさんに来ていただいたワークショップは、ゆるり家スタッフが集合。真面目な話し合いの結果、出てきたキーワードは「気のいいおばちゃんを増やす」。ここから、うまくまとめていただき、ゆるり家のミッション・ビジョンが決まりました。  
 さあ、今後のゆるり家にどうご期待です！

## ご支援のお願い

ゆるり家は一般の住宅をお借りして活動しているので、家賃や光熱費、駐車場代などがかかります。地域みんなが集える場をつくる為、子どもたちが自由に遊べる場の為、ゆるり家の活動を応援していただける方を募集しています。

### 《ご支援いただく方法》

【1】会員登録をする

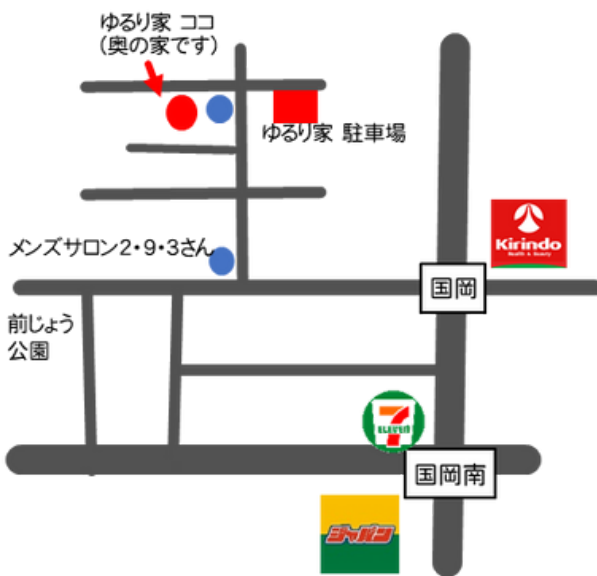
☆賛助会員

☆イベント協力会員

【2】資金・物品の寄付をする

※Amazonの欲しいもののリストを公開しています。

詳細はHPまで。



ゆるり家地図



Facebook



Instagram



公式LINE



ゆるり家HP

活動の様子を  
HPやSNSで配信中！